

ference on "Physical chemistry of colloids and interfaces : Biotechnologies and Drug research", 1983, 9, Paris.

5) 竹口紀晃, 桜井和久, 柏倉正: リポソームと小腸粘膜の相互作用解析のモデル系. 第21回日本生物物理学会, 1983, 10, 岐阜.

6) 山崎芳伸, 斉藤拓哉, 石村典元, 森井孫俊, 竹口紀晃: 胃ペンクルのアニオンチャンネルとHCl濃縮. 第21回日本生物物理学会, 1983, 10, 岐阜.

7) 斉藤拓哉, 森井孫俊, 竹口紀晃: 胃ペシクル膜のKCl透過性のS-S架橋, SH修飾による調節. 第6回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム, 1983, 11, 京都.

8) 竹口紀晃, 森井孫俊, 斉藤拓哉, 山崎芳伸: H, K-ATPaseの活性調節. 第9回生体エネルギー討論会, 1983, 12, 大阪.

生薬学会第30年会, 1983, 10, 徳島.

2) 浜辺真佐子, 沢井美也, 林利光, 有澤宗久, 吉崎正雄, 森田直賢, 木津治久, 富森毅: フウLiquidamber formosana (Hamamelidaceae)の成分研究その1. 日本生薬学会第30回年会, 1983, 10, 徳島.

3) 吉崎正雄, 藤野廣春, 有生明雄, 有澤宗久, 森田直賢: ツルドクダミ Polygonum multiflorum THUNB. (Polygonaceae)の成分研究. その1. 日本生薬学会第30回年会, 1983, 10, 徳島.

4) 金岡又雄, 矢野三郎, 加藤弘巳, 中西京子, 吉崎正雄: 和漢薬の生理活性成分の酵素免疫測定法の研究. 芍薬成分 paeoniflorin の酵素免疫測定法について. 第17回和漢薬シンポジウム, 1983, 9, 富山.

5) 木村郁子, 木村正康, 吉崎正雄: 糖尿病性ニューロ・ミオパチーに対する芍薬甘草湯類聚方のマウス in situ におけるブレンド効果. 第17回和漢薬シンポジウム, 1983, 9, 富山.

薬学部附属薬用植物園

助 教 授 吉 崎 正 雄

助 手 鈴 木 正 一

文部技官 藤 野 廣 春

◆ 原 著

1) Kikuchi T., Kadoda S., Yanada K., Tanaka K., Watanabe K., Yoshizaki M., Yokoi T. and Shingu T. : Isolation and Structure of Magnosalin and Magnoshinin, New Neolignans from Magnolia salicifolia Maxim. Chem. Pharm. Bull. **31** : 1112-1114, 1983.

2) Kimura I., Kimura M., Yoshizaki M., Yanada K., Kadota S. and Kikuchi T. : Neuro-muscular Blocking Action of Alkaloids from a Japanese Crude Drug "Shin-I" (Flos Magnoliae) in Frog Skeletal Muscle. Planta Medica **48** : 43-47, 1983.

◆ その他

1) 吉崎正雄編: 富山医科薬科大学薬学部附属薬用植物園植物目録追録, 薬用植物園, 1983, 2.

2) 吉崎正雄: 薬草の花—ウンシュウミカン—. モダンメデイシン, **12**(2): 16, 1983.

◆ 学会報告

1) 金岡又雄, 矢野三郎, 加藤弘巳, 中西京子, 吉崎正雄, 寺澤捷年, 坂東みゆき, 鳥居塚和生: 和漢薬の生理活性成分の酵素免疫測定の研究. 芍薬成分 paeoniflorin の酵素免疫測定法について(2). 日本